

ファイナルレポート

(日本語抄訳版)



2022年6月24日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

wire & Tube 2022 : サステナビリティが熱いテーマ

2022年6月20-24日、実に4年ぶりの開催となったワイヤー、ケーブル、チューブ業界のナンバーワンメッセ「wire（国際ワイヤー産業展）」「Tube（国際管材製造加工・技術展）」がドイツ・デュッセルドルフで開催されました。

wire の出展社数は51か国・1,057社、Tube は44か国から765社でした。来場者の約70%（140か国以上）がドイツ国外からデュッセルドルフを訪問し、高い国際性を示しました。

<業界が待ちわびた wire & Tube の開催>

wire & Tube、フローテクノロジーのプロジェクトダイレクターであるダニエル・リフィッシュは、「世界的なエネルギー転換に伴う現在の課題、機械や装置に求められる新しい要求、そしてこれらすべてが持続可能な観点から考慮されなければならないという現状において、メッセ会場で意見を交わしたいという出展者・来場者双方からの非常に高いニーズを感じました」と、成功裡に再開を果たしたメッセについてコメントしています。

ホールには機械や装置が並んだほか、新しい試みもお披露目となりました。ファスナーとばねの製造技術に関わる wire 出展者は、今回初めてファスナー部品や工業用ばねなどの最終製品も出展しました。また技術会議、専門家会議に加え、展示ホールをガイド付きで巡回する ecoMetals ツアーも開催されました。

メッセ・デュッセルドルフは、この業界について回る、エネルギーを多く消費する産業というイメージを持続可能な産業なものへと変える取り組みを、すでに数年前から積極的に支援しています。wire & Tube の出展者がイノベティブなだけでなく、高いエネルギー効率で資源を大切にしながら生産を行っているということが、ecoMetal トレイルで体験することができました。

<参加者からの高い評価>

WAFIOS AG 取締役会スポークスマンである Dr.ヴァイクマンの「wire への期待は大変高かった。ここ数年、対面でのコンタクトがなく、wire & Tube のようなメッセでのお客様との対話の価値を改めて思い知

った。将来的によりサステナブルなビジネスを可能にする生産性の飛躍的な向上、画期的な新しい技術、自動化ソリューションを掲げた。WAFIOSにとってイノベーションは常に最重要課題であり、今回も明確に打ち出すことができた。お客様の反応もよく、wireとTubeの両方のブースは連日盛況だった」というコメントからは充実した出展であったことが伺えます。またTubeに出展したSalzgitter AGコーポレートデザイン&イベント・コーポレートコミュニケーションヘッド Mr. ザインシェは、「弊社の製品を紹介できるだけでなく、Tube 2022は顧客やパートナーとのパーフェクトなコミュニケーションプラットフォームだ」とコメントしています。

次回のwire & Tube 2024は2024年4月15-19日、ドイツ・デュッセルドルフにて開催されます。

また、今後各国で開催されるwire & Tubeの日程は以下の通りです：

- wire & Tube China 2022: 2022.09.26-29 | 中国・上海
- wire & Tube Southeast Asia 2022: 2022.10.05-07 | タイ・バンコク
- wire & Tube India 2022: 2022.11.23-25 | インド・ムンバイ

wire & Tube 2022のファイナルレポート（オリジナル）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：富田

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp

